

科目区分	専門分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	回復を促す技術Ⅱ（感染予防、臨床検査）		担当教員	専任教員			
使用テキスト	1) メディカ出版 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 2) メディカ出版 基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ						
テキスト以外の教材・参考書等	1) メディックメディア 看護が見える①基礎看護技術 2) インターメディカ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス 3) インターメディカ 写真でわかる臨床看護技術1アドバンス 4) インターメディカ 写真でわかる臨床看護技術2アドバンス 5) 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>看護師の役割として「診療の補助」がある。回復を促す技術は、診療の補助業務を中心に科目構成した。現在、様々な感染症が増加している。感染予防対策の基本を習得することは必須であり、対象とともに自己を守る援助につながる。専門基礎分野で学んだ、微生物学の知識も踏まえ、正しい感染予防対策が理解できるようにする。</p> <p>検体検査や臨床検査で得られた情報は、健康状態の判断や異常の早期発見、疾病の判断や治療方針・効果の判断のために必要である。医療検査では、臨床検査技師など多職種との連携も重要になる。身体への侵襲が大きい検査もある。検査を受ける患者は、苦痛や不安を抱えている予測される。患者の苦痛や不安を取り除き、検査がスムーズに行われるよう援助する必要がある。専門基礎分野で学ぶ、ME、臨床検査、放射線につながる科目でもあるため、検査・処置時の援助の基本が理解できるようにする。感染予防・臨床検査の看護援助を実施するための基礎的技術を習得する</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の基礎知識について理解できる。 2. 標準予防策について理解できる。 3. 感染経路別予防策について理解できる。 4. 無菌操作の基礎知識について理解できる。 5. 手指衛生、ガウンテクニック、無菌操作の基本的援助方法について習得できる。 6. 滅菌・消毒洗浄処置の基礎的知識について学ぶ。 7. 治療・処置時の看護師の役割について理解できる。 8. 主な検査・処置時の援助について理解できる。 9. 洗浄の基礎的知識について学ぶ。 							
評価方法	筆記試験 演習参加状況・レポート						
備考	胃洗浄・膀胱洗浄の援助計画を事前に記載し、演習時に持参する 関連科目：病理学, 感染症と微生物, ME, 臨床検査, 放射線医学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	感染予防の意義 感染症を成立させる要素と成立過程	講義
2	感染症を予防するためのプロセス 手指衛生、ガウンテクニック、無菌操作、滅菌と消毒	講義・演習
3	感染予防のための援助 スタンダードプリコーション 感染経路別対策	
4		
5	医療廃棄物の取り扱い 手指衛生、ガウンテクニック、無菌操作の実際	講義・演習
6		
7	感染症発症時の対応 感染症別施設での対応 実習場での対応	講義
8	検査とは 意義・看護者の役割・検査の種類と実施時の注意点	
9	検査・処置の基礎知識と介助 X線単純検査、超音波検査、CT検査、MRI検査、内視鏡検査、 心電図検査、心電図モニター、パルスオキシメーター、肺機能検査、 核医学検査、	講義
10		
11		
12	生体検査の基礎知識と介助 尿検査、血液検査、喀痰検査、穿刺（胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰 椎穿刺、骨髄穿刺）	講義
13		
14	洗浄 胃洗浄、膀胱洗浄	講義
15	終講試験 まとめ解説	